

## 言者ムハンマド (11/12) : マッカへの

:

明:マッカ 血入城にまつわる 事、そしてアラビア半 における偶像崇 の 。

目:[事 言者ムハンマド彼の](#)

より: IslamReligion.com

ED6 Dec 2009

集日 21 Oct 2010

### ハイバルの い

ヒジュラ 7年、 言者（彼に神の称 あれ）はアラビア半 北部に位置するユダヤ人部族そしてムスリムに する 策略の 点、ハイバルへの 征を率いました。それ以来、ハイバルのユダヤ人はムスリムによる支配下の借地人となりました。しかしそこで一人のユダヤ人女性が 言者への食事の中に毒を盛り、 言者はそれを口に含みましたが、唇に触れるや否やそれに 付きました。彼はそれを み むことはありませんでしたが、彼が教友たちにそのことを警告した には、既に一人のムスリムが み んでしまっており、やがて死亡しました。その食事を用意した女性は に 刑されました。

### マッカへの巡礼

その同じ年、 言者の は正 となりました。彼は の抵抗もなくマッカを れるのです。休 定に ってマッカの多神教徒たちはその を去り、近 の丘陵からムスリムたちのその 子を眺めていました。

### クライシュ族による休 定の破

しばらくすると、クライシュ族の同盟部族が、言者の同盟部族をマッカの域において虐し、休定を破るという事件が生じました。そのことによって、彼らはその行がもたらすであろうことを恐れしました。彼らはアブスフヤンをマディナへ派遣し、盟の及び延を求めました。彼らは虐の知らせが届く前に彼が到着することを望みましたが、彼の前には被害部族の使者が既に到着しており、アブスフヤンは再び失することになります。

## マッカ征服

言者はこのことの出来る全てのムスリムを集め、マッカへ行きました。クライシュ族は倒されました。彼らは前を出しましたが血を流すことなく走りました。そして言者は彼の故に征服者として入城するのです。

マッカ居住者たちは、去の行によりされることを予期していましたが、言者は恩赦を宣言しました。彼らの安堵と きの中、全住民が忠の誓いに急ぎました。言者は殿にあった全ての偶像の破を命じ、このように述べています：“真は到来した。は消え去ったのだ。” こうしてムスリムによる礼の呼びかけがマッカにき渡るようになるのです。

## フナインの い

その同年、怒り心の多神教徒の部族が集し、カアバ取を画策しました。言者は彼らにし、12,000人のを率いました。フナインの深い峡谷において、彼の はの待ち伏せを受け、一は退却の危にりましたが、困において彼らは言者の元に集し、彼の と共に断固としてひるみませんでした。やがて完全な利がもたらされました。の部族は彼らのあらゆる所有物を伴って来たため、莫大な利品の得に成功したのです。

## タ イフ征服

サキフ族は、フナインのいにおける部族の一つでした。フナインでの利の、タイプの町はムスリムによって包まれ、最終的にされました。次いで言者はマッカの督を任命した、そのままマッカに留まり、しばらくしたそこに首都を移すのではないかと危惧したアンサルたちの待つマディナへとったのです。

## タブクへの征

ヒジュラ9年、シリアにおいて再びが招集されたという知らせを受けた言者は、全てのムスリムにしてこれから行なわれる大役の支持をするよう呼びかけました。言者は衰弱した体にもわらず、真夏にシリアの前までを率いました。い旅路、暑い候、そしての期だったことやの威信という要素も相まって、それらを口として、あるいは何の口もなく留まる者たちが相次ぎました。はその夜、水と食料のない状で野し、ラクダの背を宿としました。こうして彼らはタブクのオアシスに到着すると、いくつかの部族を改宗させてマッカへしました。役は平和に了しました。はタブク、そしてシリアとの国境へしましたが、は集しなかったことを知ったのです。

## 盟解除の宣言

マッカは既に征服され、人々はムスリムに改宗していましたが、巡礼の公式な手は更されておらず、多神教徒のアラブ人たちは彼らなりの方法で、そしてムスリムたちはの方法で行なっていました。ヒジュラ9年に巡礼者たちの商がマディナを出したあと、つまりイスラムがアラビア半北部においてとなると、いわゆる盟解除の宣言が示されます。その趣旨とは、その年以降ムスリムのみが巡礼を行うというものでしたが、彼らには多神教徒たちとの盟があり、彼らはその内容を一度も破っておらず、また彼らと盟をんでいた者たちを支援することはありませんでした。って彼らは盟によって定められていた特を享受することが出来ましたが、盟期が失した折には彼らのいは他の多神教徒同となり、それと同にアラビア半における偶像崇はを迎えたのです。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/index.php/jp/articles/179>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。